

津波から身を守るために

気づき、考え
実行しよう

質問

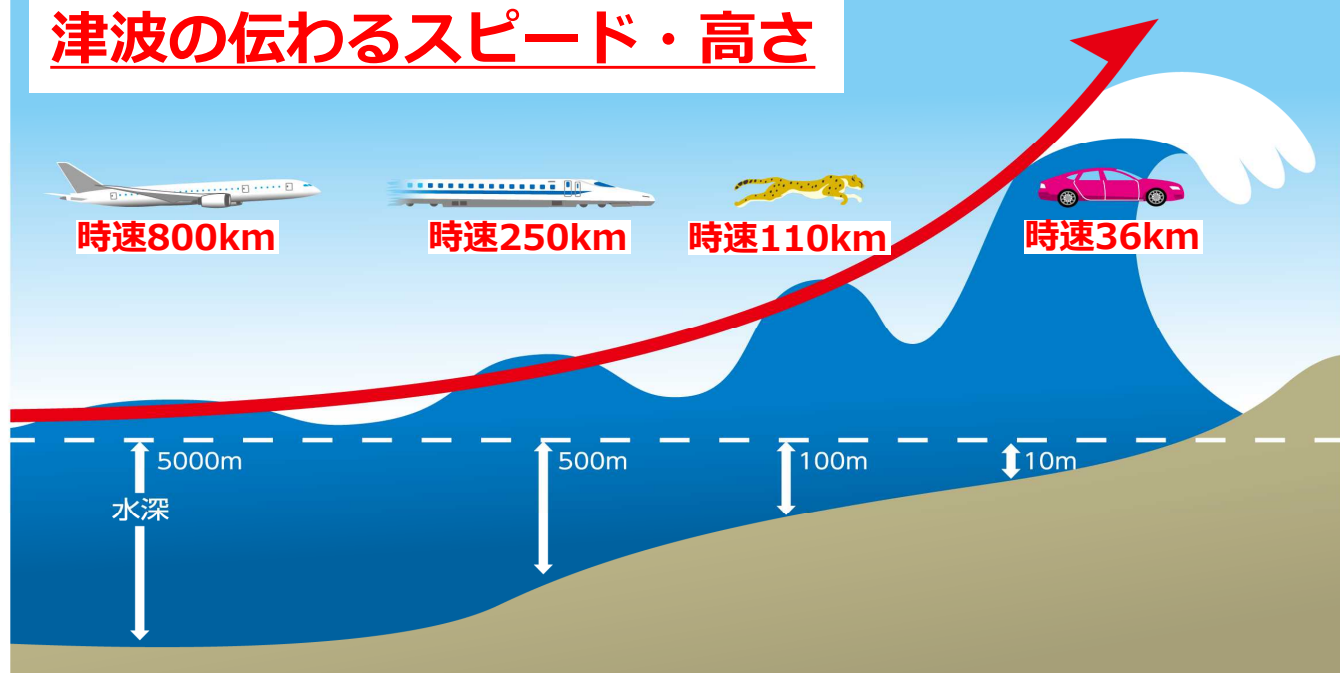
【I 津波とは？】

次の①～③のうち、正しいものの番号に○をつけよう。

- ① 津波を見てから逃げて間にも合う。
- ② 津波の押し寄せるスピードは人間が走るよりも速い。
- ③ ひざ下くらいの高さ（水深約20～30cm）の津波なら危険はない。

* 正解は、次の文章・図の中に書かれています。

津波の伝わるスピード・高さ



ポイント！

津波のスピードはとても速く、津波を見てから逃げ始めても間に合わない。津波の破壊力は強く非常に危険。

豆知識

津波の力

津波の力はとても強く、家や車をあっという間に押し流してしまいます。津波による水の深さが20cmくらいでも、速い流れに巻きこまれてしまうことがあります。また、1mを超えると、家がこわれ始めます。

考えてみよう！

津波はすごいスピードでおそってきますが、逃げる前に一度家に帰って家族に会いに行ったり、大事なものを取りに行ったりすることができるでしょうか。

答え

津波から身を守るために

【I 津波とは？】

津波の恐ろしさ、仕組みについて学習します。

地震により海底が盛り上がるなどして、押しのけられた海水が周囲へ伝わるのが津波の正体です。このため、海岸に近い場所で大きな地震が起きた場合、短い時間で津波がきます。岬の先端やV字型の湾の奥などの地形の場所では、波が集中するので、特に注意が必要です。

津波発生仕組み①→②→③→④



東日本大震災時の津波被害の様子

もう少し
しっかり
学ばせたい!

青少年赤十字防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」

P.50【津波災害】（授業時間50分）DVDとワークシートで、津波が起こるメカニズムや津波から身を守る方法が学べます。

・質問の答え：②

・考えてみようの答えについて

過去の津波災害では、家族の様子を見に戻ったり、大切なものを取りに家に戻ったりして、津波の被害にあうことがくり返されています。

家族は無事かな？大事にしているものを失くしたくないなと思い、家に戻ることによって逃げおくれしてしまうのです。家族みんなが助かるためには、自分も家族もそれぞれが安全な場所を目指して逃げるのが重要です。

津波から身を守るために

【Ⅱ 津波からの避難】

気づき、考え
実行しよう

質問

次の①～③のうち、正しいものの番号に○をつけよう。

- ① 津波警報が発表されたが、揺れが弱かったので逃げなくてもよい。
- ② 津波が来る前には、津波警報が必ず発表される。
- ③ 津波が来るときは、できるだけ高い場所（3階以上のビル・高台）へ逃げるとよい。

* 正解は、次の文章の中に書かれています。

津波警報が発表されたらただちに高い場所に急いで避難

- ・ 大津波警報、津波警報が発表されたら、すぐに高いところへ逃げてください。
- ・ 海に近い場所で地震が発生したときは、津波警報が間に合わないこともあります。
- ・ 強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときはすぐに逃げましょう。



ポイント！

津波がくるときは、できるだけ高い場所へ急いで逃げる。海のそばで地震の強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときにはすぐに逃げる必要がある。

津波から逃げるときは

豆知識



津波から逃げるには、山や高台、ビルなど高い方へ逃げるのが大切です。ここで大丈夫と思わず、できるだけ高い場所へ逃げましょう。

また、逃げる時は周辺の人同士、『津波がくるぞ』と声をかけあいながら避難しましょう。



考えてみよう！

初めて遊びにいった海水浴場で強い揺れを感じたり、弱くても長い時間揺れたりした時、どこを目指して逃げるとよいでしょうか。

答え

津波から身を守るために

解説編

【Ⅱ 津波からの避難】

津波から身を守るにはどこへ逃げるべきかを学習します。

避難する時や避難した後について

- ・津波から身を守るためには、急いで高い場所へ逃げるのが重要です。
- ・車を利用すると、渋滞などにより避難できない場合があります。原則、徒歩で避難しましょう。
- ・津波は繰り返しおそってきます。避難後は、最新の情報を確認し、津波警報や自治体の避難指示などが出ている間は避難を続けましょう。



つなみひなん
津波避難



つなみひなんばしょ
津波避難場所



つなみひなん
津波避難ビル

津波のおそれがある所には、津波避難場所などが分かる標識があります。
海の近くへ行った時はあらかじめ確認することが大切です。

種類	津波注意報	津波警報	大津波警報		
定性表現	表記しない	高い	巨大		
数値	1 m (0.2 m ≦ 予想高さ ≦ 1 m)	3 m (1 m < 予想高さ ≦ 3 m)	5 m (3 m < 予想高さ ≦ 5 m)	10 m (5 m < 予想高さ ≦ 10 m)	10 m 超 (10 m < 予想高さ)

津波警報等の種類



赤白の格子模様の
「津波フラッグ」

聴覚に障がいをおもちの方々などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになりました。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。



もう少し
しっかり
学ばせたい！

青少年赤十字防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」

P.50【津波災害】（授業時間50分）

DVDとワークシートで、津波が起こるメカニズムや津波から身を守る方法が学べます。

・質問の答え：③

・考えてみようの答えについて

津波から逃げる際、知らない街では具体的にどこに逃げれば良いか判断に迷うこともあるでしょう。上記に示しているように海に近いところでは、津波から逃げるための標識が設置してあります。海や海の近くに遊びに行くときには、あらかじめ確認しておいてください。



津波から身を守るために **気づき、考え、実行しよう**

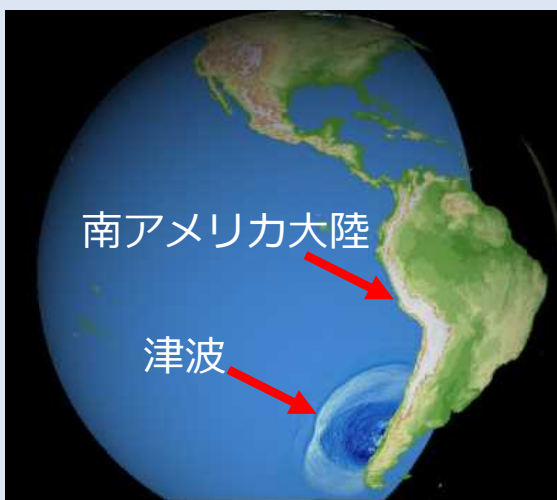
質問

【Ⅲ 揺れを感じぬまま津波が襲来^{しゅう}】

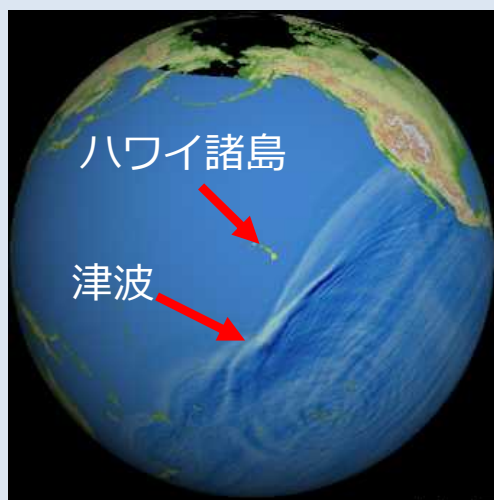
次の①～③のうち、正しいものの番号に○をつけよう。

- ① 津波を発生させる地震は、日本周辺でしか起きない。
- ② 津波は必ず揺れを感じた後に押し寄せてくる。
- ③ 海はつながっているため、国外で発生した津波が日本へ到達することがある。

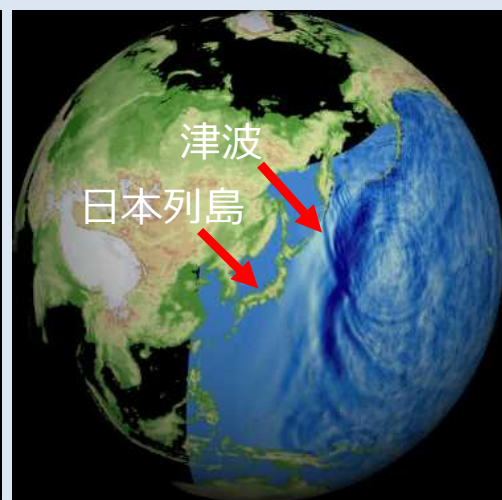
* 正解は、次の文章・図の中に書かれています。



地震発生から2時間後



14時間後



22時間後

1960年チリ地震津波の再現実験の様子

内閣府防災情報HPより

ポイント！

日本は海に囲まれていることから、国外で規模の大きな地震が発生すると、遠方から津波が押し寄せることがある。

豆知識



1960年チリ地震津波について

1960年5月23日チリ中部沿岸でマグニチュード9.5という巨大地震が発生しました。この地震によって生じた津波は約1日かけて日本に襲来し、東北地方の三陸沿岸で8.1mの高さとなったほか、太平洋沿岸の広い範囲で観測され、多くの被害が生じました。

考えてみよう！

- ・ 国外で発生した津波が日本へ影響を与えるかについてどこから情報を入手しますか。
- ・ 情報を入手した後、どのような行動を取りますか。



答え

津波から身を守るために

解説編

【Ⅲ 揺れを感じぬまま津波が襲来^{しゅう}】

国外の地震による津波について学習させます。



『1960年チリ地震津波』の津波被害の様子
左：岩手県大船渡市 右：三重県北牟婁郡海山町（現在の紀北町）

国内で揺れを感じることなく津波が押し寄せる『遠地津波』は、現在のような情報発表体制が整うまでに世界の各国で甚大な被害をもたらしました。1960年のチリ地震を契機に津波災害の防止・軽減を目的とした国際的な組織が設立され、太平洋沿岸の関係国が地震・津波に関する情報を相互に交換することとなりました。なお、津波がフィリピン付近で発生した場合はおよそ2時間後に、アラスカ付近で発生した場合はおよそ5時間後に日本へ到達すると考えられます。

2004年12月26日スマトラ島沖で、マグニチュード9.1の巨大地震が発生しました。この地震によって発生した大津波は、スマトラ島及びインド洋の沿岸地域などに押し寄せ、その後、遠く離れたアフリカ大陸東岸の地域にあたるソマリア、ケニアなどにまで達しました。この大津波による死者・行方不明者は30万人を超え、未曾有の被害をもたらしました。この地震発生当時、インド洋領域において、津波情報を発表するような機関が存在しなかったことも被害を大きくした要因の一つと考えられます。現在では、インド・インドネシア・オーストラリア当局が津波情報提供機関として、この領域の情報発表を行っています。

もう少し
しっかり
学ばせたい！

青少年赤十字防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」

P.50【津波災害】（授業時間50分）DVDとワークシートで、津波が起こるメカニズムや津波から身を守る方法が学べます。

・質問の答え：③

・考えてみようの答えについて

気象庁では国外でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合等の際、地震発生から概ね30分以内に『遠地地震に関する情報』を発表します。この情報では、日本や国外への津波の影響に関しても記述します。その後、日本において津波による災害の発生が予想される場合には『津波警報等』を発表します。これらの情報はテレビ・ラジオ・スマートフォンで知ることができるので、津波から身を守るための避難行動に活用しましょう。